

県内でも
数少ない

五月人形物語

五月人形、幕末の子ども用甲冑、石川確治作「鐘馗」の掛け軸など
端午の節句飾りを展示します。

それぞれの人形を、歴史の史実や通説、俗説に基づいた見立展示をし、
多数の物語を楽しんでいただきます。



八幡太郎義家が家来に声をかけています。
「そんなに笑顔で何かいいことでもあったのか」
「はい、義家殿、実は…」



鐘馗は科挙の試験に一番で合格したにもかかわらず、人相が悪いというだけの理由で役人に登用されませんでした。悲しみに打ちひしがれた鐘馗は死を選んだ。ところがその後…



加藤清正の軍勢が朝鮮との戦いで山に陣を張っていました。そこに山に住んでいる大きな虎がやって来て軍馬に襲いかかり、それをくわえたまま、宙を飛んで陣営から逃げていきました。虎はすっかり味をしめたようで、翌日には清正の家来もかみ殺してしまいました。怒りに燃えた加藤清正は…



太田道灌が鷹狩りに出掛けた際、にわか雨に遭い、ある小屋に入って「蓑を貸してくれ」と頼んだところ、そこに暮らす貧しい村娘が、物も言わずに顔を赤らめ、お盆に載せた山吹の枝を差し出します。道灌は「花が欲しいのではない」と怒って帰ってしまいます。ところが…

2023年4月23日(日)~5月20日(土)

山辺町ふるさと資料館

山辺町ふるさと交流センター「あがらっしゃい」隣接

〒990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺208番地の1
TEL 023-664-5033 FAX 023-664-5377

山辺町ふるさと資料館利用案内

◆開館時間

9:30 ~ 16:30

◆休館日

月曜日、国民の祝日
※こどもの日は開館いたします。

◆入館料

大人	200円	
学生	100円	高校生以上
小人	50円	小中児童生徒



羽前山辺駅より徒歩5分
山形中央ICより車で8分

